

予 算 要 求 資 料

令和5年度12月補正予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

事業名 児童養護施設等エネルギーコスト削減推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 児童養護第二係

電話番号：058-272-1111(内2636)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 6,720 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	6,720	0	0	0	0	0	0	0	6,720
決定額	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

昨今の燃料費の高騰による児童養護施設等の運営費負担を軽減するため、エネルギーコストを削減するための設備の更新等を支援する。

(2) 事業内容

<対象施設>

児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、母子生活支援施設、婦人保護施設

<対象設備>

空調・換気設備、照明設備、冷蔵・冷凍設備、恒温設備、熱電供給設備、窓
※省エネ設備であり、省エネ性能に関する基準を満たすもの

<補助額>

1施設あたり上限100万円(下限30万円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県2/3

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	6,720	エネルギーコストを削減するための設備の更新に対する補助
合計	6,720	

決定額の考え方

補助率は1/2とし、所要額を計上します。
財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

- (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県社会的養育推進計画

- (2) 国・他県の状況

特になし

- (3) 後年度の財政負担

特になし

- (4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県社会的養育推進計画に基づいて実施する事業であるため、県が主体として妥当

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	児童養護施設等エネルギーコスト削減推進事業費補助金
補助事業者（団体）	児童養護施設等 （理由） 24時間の施設運営が必要であり燃料費高騰の影響が大きい ため
補助事業の概要	（目的） 燃料費等高騰に係る施設の運営費負担を軽減 （内容） 省エネのための設備の更新等を補助
補助率・補助単価等	定率（上限あり） （内容） （理由） 燃料費高騰による影響を軽減する設備導入を、 県と事業者で負担することとするため
補助効果	燃料費等高騰により施設運営が困難となることを回避
終期の設定	終期 令和5年度 （理由） 燃料費等高騰対策であるため

(事業目標)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 燃料費等高騰により施設運営が困難となることがないこと

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 施設閉鎖数	1	-	0	0	0	
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
			2,800

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> 燃料費等は高騰しており、適切な施設運営のための支援が必要となっている
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 児童養護施設等が適切に支援を受けられるよう、事業の周知を図る。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 燃料高騰等の動向を踏まえ、状況に応じて必要とする事業を検討する。
--